



Hirata

第68回 定時株主総会

平田機工株式会社

平田機工株式会社

第68期

事業報告

連結計算書類

計算書類

事業報告

2018年4月1日～2019年3月31日



企業集団の現況
当事業年度の事業の状況

事業の経過および成果

▶ 世界の経済情勢

米国

**雇用・所得環境の改善
個人消費の回復**

着実な拡大基調

世界の経済情勢

欧州

一部で企業活動の停滞
底堅い個人消費

緩やかな回復基調が継続

▶ 世界の経済情勢

中国

**製造業で設備投資を抑制
足元では輸出入が減少傾向**

景気減速が鮮明

国内経済

**設備投資の増加
雇用・所得環境の改善による
個人消費の持ち直し**

緩やかな回復基調

▶ 世界経済

**米中貿易摩擦
英国のEU離脱問題**

世界経済の不確実性の高まり

先行きは依然として不透明

▶ 当社グループ

経営基盤の強化

受注・生産・開発体制強化

既存事業の深耕と拡大

成長市場への進出

量産型ビジネスの確立と商品化

新規顧客開拓

▶ 当社グループ

有機EL関連の設備投資が調整局面

**自動車メーカーで内燃系
パワートレイン関連の設備投資が慎重**

連結売上高

77,302百万円
前期比17.9%減

(単位:百万円)

94,163

77,302

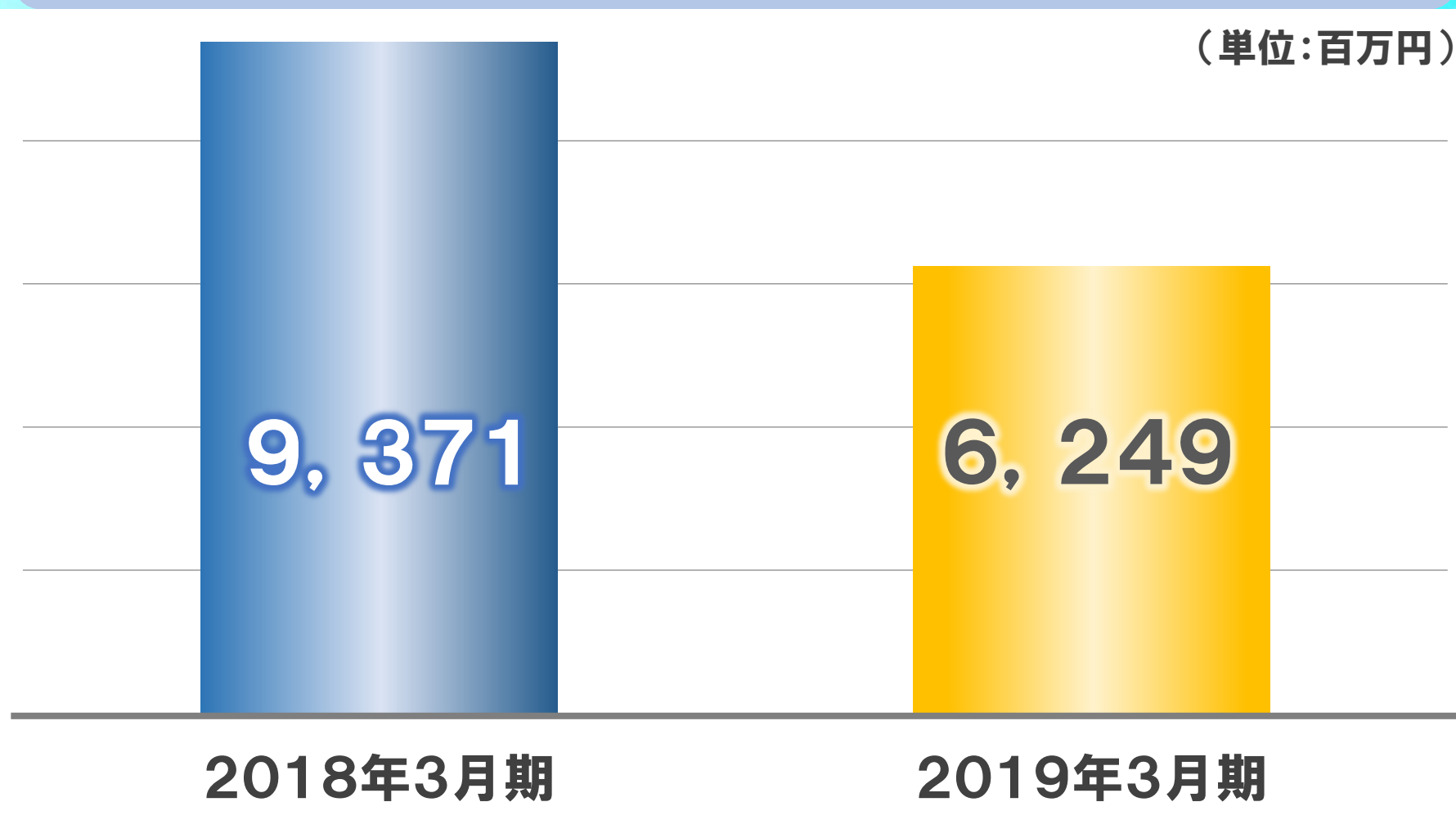
2018年3月期

2019年3月期

連結営業利益

6,249百万円
前期比33.3%減

(単位:百万円)



連結経常利益

6,306百万円
前期比31.8%減

(単位:百万円)

9,247

6,306

2018年3月期

2019年3月期

親会社株主に帰属する
当期純利益

4,637百万円
前期比30.4%減

(単位:百万円)

6,666

4,637

2018年3月期

2019年3月期



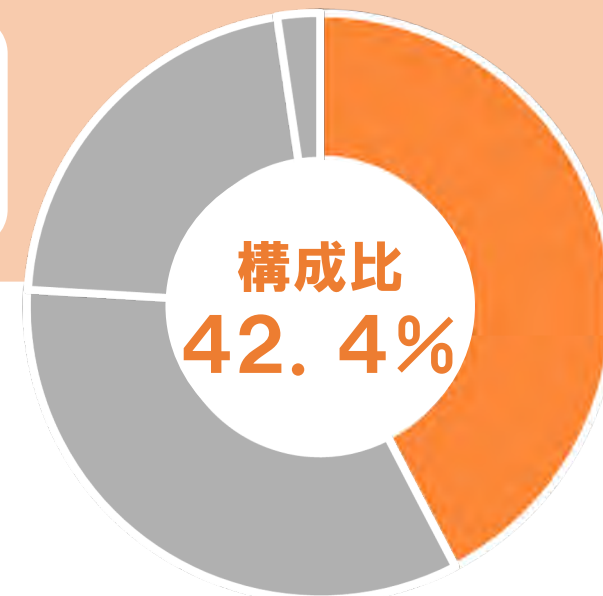
事業部門別の営業概況



自動車関連生産設備事業

売上高

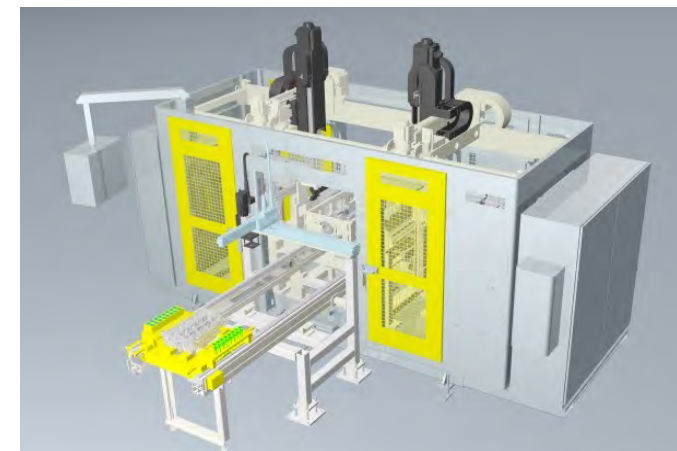
32,760百万円
前期6.3%減



オートマチック
トランスミッションの
クラッチ組立装置



単体商品化された
エコ電動ストッパー



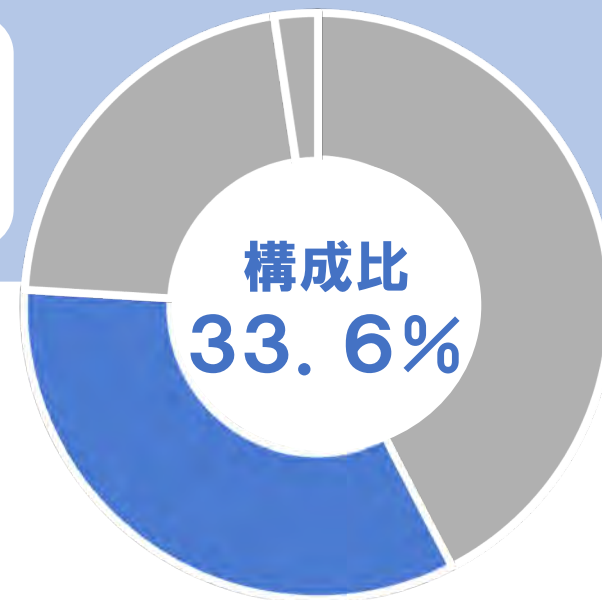
シリンダーヘッドの
バルブ組付装置



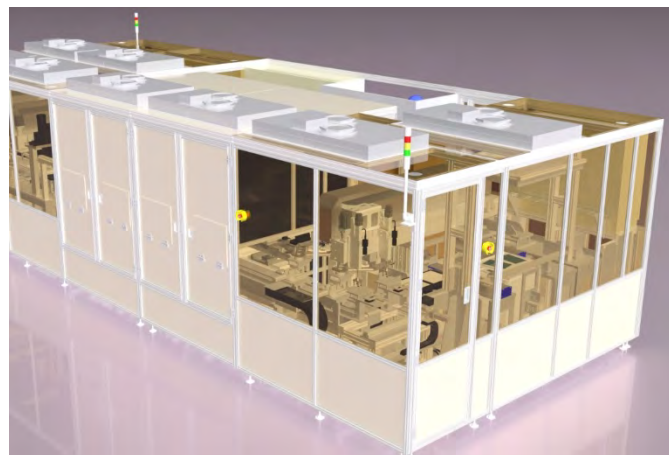
半導体関連生産設備事業

売上高

25,939百万円
前期比30.5%減



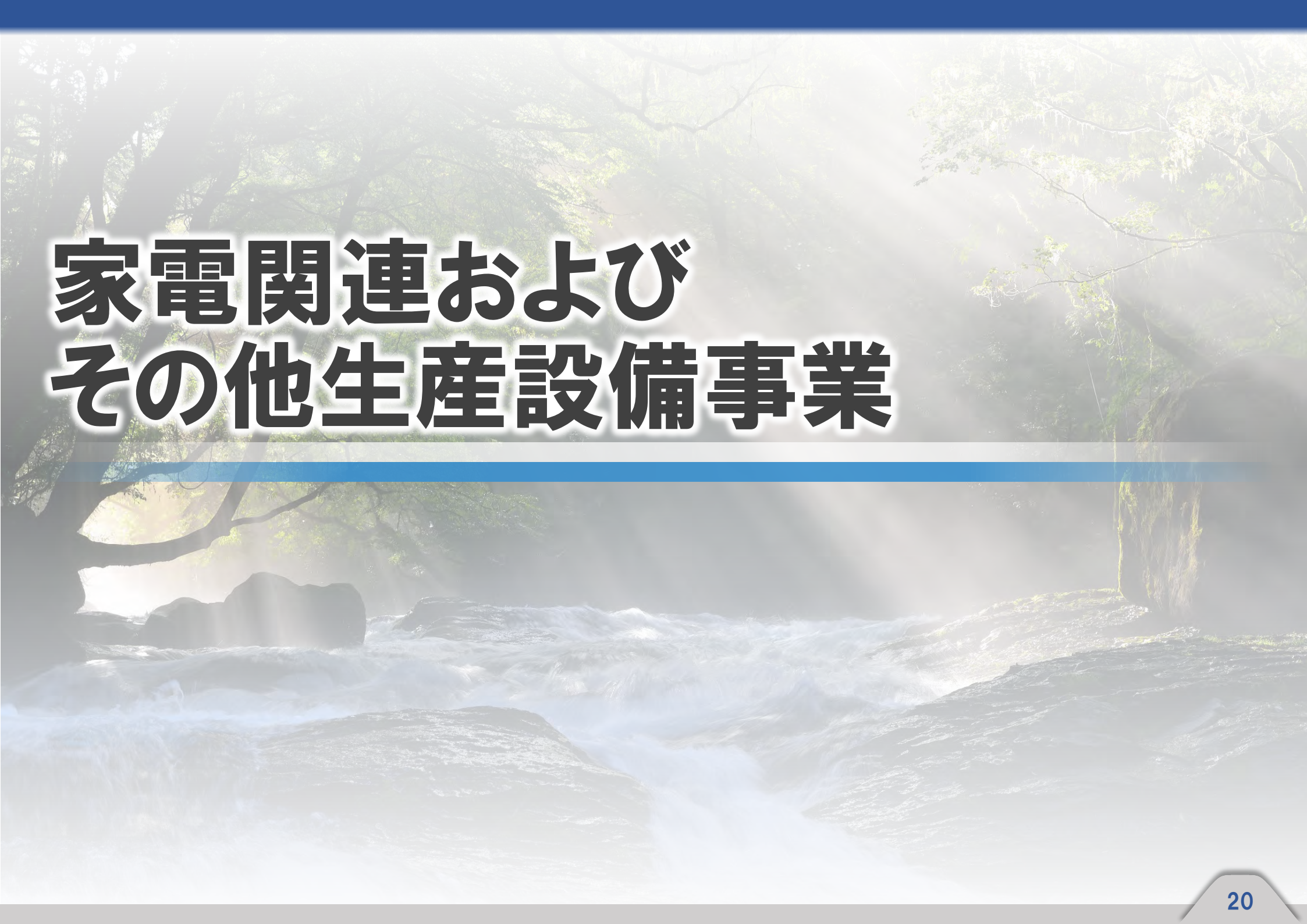
有機EL関連装置
真空蒸着装置



レーザーガラス切断システム



ウェーハ搬送ロボット



家電関連および その他生産設備事業

売上高

16,780百万円
前期比4.5%減

構成比
21.7%



家電の部品組立装置



樹脂成型機ライン



モバイル組立装置



設備投資の状況

総額

4,135百万円

当連結会計年度中に完成、導入した主要設備

熊本工場 新本社工場 **1,350**百万円

タイハイテクノス 石川工場技術センター **239**百万円

熊本工場 五面加工機の導入 **159**百万円

当連結会計年度において継続中の主要設備の新設

熊本工場 工場建設 **1,208**百万円

総額

4,135百万円

当連結会計年度中に実施した
重要な固定資産の売却、撤去、滅失

熊本工場 新本社工場建設に伴う
既存建屋撤去

366百万円

熊本工場 新本社工場建設に伴う
工作機械等の売却

367百万円

資金調達の状況

**事業の譲渡、吸収分割
または新設分割の状況**

他の会社の事業の譲受けの状況

**吸収合併または吸収分割による
他の法人等の事業に関する
権利義務の承継の状況**

**他の会社の株式その他の持分または
新株予約権等の取得または処分の状況**

につきましては、該当事項はございません。

直前3事業年度の財産および 損益の状況

重要な親会社および子会社の状況

につきましては、
16ページから17ページをご参照ください。



対処すべき課題について

外部環境の変化による大きな影響

**米中貿易協議の長期化
取引先企業の設備投資を見直す動き**

今後も厳しい経営環境を想定

**「世界のお客様に選ばれるオンリーワンの
生産設備システムインテグレータ」として**

**外部環境に大きく左右されることなく、
高品質で高効率な生産システムを常に提供**

**安定化に向けた新たな事業への投資、
より一層の社内効率化**

① 中期経営計画への取組

**将来の成長性確保のための
経営戦略**

**最新加工機導入、
新本社工場建設などの設備投資**

新規事業分野での実用化研究

① 中期経営計画への取組

量産型ビジネスの確立と商品化

**量産かつ汎用が可能な
デバイス商品の開発**

既存の単品商品のラインナップ拡充

② 事業上の課題への取組

世界9か所の拠点を活用した
グローバルな対応力と
生産現場ノウハウを発揮

新しい市場・顧客を開拓
安定した収益を確保できる事業展開

②事業上の課題への取組

欧州・中国などへの拡大と展開

新規顧客の開拓
新分野の研究開発

コスト体質の強化

主要な事業内容

主要な営業所および工場

使用人の状況

主要な借入先の状況

その他企業集団の現況に関する重要な事項

につきましては、
19ページから21ページをご参照ください。

- 株式の状況
- 新株予約権等の状況
- 会社役員の状況
- 会計監査人の状況
- 業務の適正を確保するための体制
- 業務の適正を確保するための体制の運用状況
- 会社の支配に関する基本方針

につきましては、
22ページから32ページをご参照ください。

連結注記表

個別注記表

につきましては、
当社ウェブサイトに掲載して
おりますので、そちらにてご確認ください。

連結貸借対照表

2019年3月31日現在

➤ 資産の部

主要科目	金額(百万円)	増減率
流動資産	64,321	△10.0%
固定資産	26,252	+10.0%
資産合計	90,573	△5.0%

➤ 負債の部

主要科目	金額(百万円)	増減率
流動負債	36,718	△2.0%
固定負債	7,244	△35.7%
負債合計	43,963	△9.8%

▶ 純資産の部

主要科目	金額(百万円)	増減率
資本金	2,633	—
資本剰余金	14,300	△0.1%
利益剰余金	27,313	+12.2%
その他の 包括利益累計額	4,355	△11.2%
純資産合計	46,610	+0.1%
負債及び 純資産合計	90,573	△5.0%



連結損益計算書

2018年4月1日～2019年3月31日

主要科目

金額(百万円)

増減率

売上高

77,302

△17.9%

営業利益

6,249

△33.3%

経常利益

6,306

△31.8%

親会社株主に帰属する
当期純利益

4,637

△30.4%

連結株主資本等変動計算書

貸借対照表

損益計算書

株主資本等変動計算書

につきましては、
35ページから38ページをご参照ください。